



# 椿ちか子 研究内容及びゼミ活動の紹介 保健体育科教育学ゼミ



## (ゼミの目標)

- ☐ 保健体育の学習指導要領に基づいた授業づくりについて研究する
- ☐ 保健体育教師に必要な基礎的な授業設計力や教授技術を身に付ける

## ・ 学習指導要領とは？

「法規としての性質を有する」最高裁判所の判決（平成2年1月18日）

全国の学校における保健体育の授業は、この学習指導要領に記載されている内容に基づいて指導されています



平成29年・30年告示の学習指導要領のキーワード

主体的・対話的  
で深い学び

カリキュラム・  
マネジメント

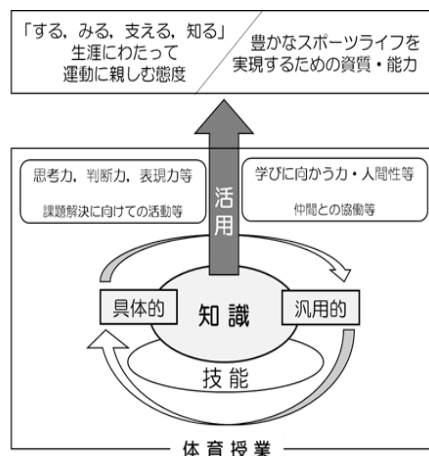
共生社会の実現

## 研究キーワード

## 新学習指導要領における「知識」と「技能」

今回の学習指導要領の改訂では、「知識の理解の質を高める」ことが明記されました。保健体育科においても、体育分野の「知識」について、「技能」と関連させた学習が重要であり、具体的な知識の理解にとどまらず、運動実践や生涯スポーツにつながる汎用的な知識の定着も重視することが示されています。また、「技能」と関連した「知識」を活用する授業を行う中で、「思考力、判断力、表現力等」や「学びに向かう力、人間性等」も育成されます。さらに、授業を通して児童生徒が獲得した「知識」は、「する、みる、支える、知る」等の生涯にわたって運動に親しむ態度の育成や、保健体育科の目標である、「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力」の獲得に繋がります。

したがって、体育分野の学習すべき「技能」に対応した「知識」は、体育授業の実践、保健体育科で獲得を目指す態度や資質・能力の根幹となります。それ故、「技能」と関連させた「知識」を明確にし、それらの「知識」を活用した授業実践モデルを構築することは、体育授業の充実や児童生徒の生涯スポーツに繋がる資質・能力の育成を目指す上で、大変重要です。



## (ゼミの主な活動)

- ・ 保健体育科教育関連論文・書籍の精読と関連情報の分析
- ・ 保健体育の「模擬授業」の実践・省察
- ・ 学校教育に関するテーマについての集団討論、ディスカッション

## (ゼミ活動の様子)



## (ゼミ生の主な研究テーマ)

- ☐ 「共生」の視点を取り入れた体育授業  
～男女共習授業の実現に向けて～
- ☐ ICTを活用した保健・体育授業の実践  
～体育実技におけるリモート授業の実現可能性～
- ☐ 体育系大学の学生が考える楽しい体育授業  
～生徒全員が楽しめる体育授業の実現に向けて～
- ☐ 体育授業における「音楽」の効果
- ☐ 短期間で効率よくダンスのテクニックを身に付けることができるウォーミングアップの作成